

7月でオープン1周年 宇宙ミュージアム『TeNQ(テンキュー)』

7月1日(水)から「シアター宙^{ソラ}」にて、新映像プログラムを公開
さらに、1周年特別企画展「宇宙兄弟展×TeNQ」を開催

東京ドームシティ(文京区後楽1-3-61)の黄色いビル(6F)にある宇宙ミュージアム『TeNQ(テンキュー)』は、今年7月でオープン1周年を迎えます。

当施設は、楽しみながら知識を深めることができる9つのエリアから構成され、いろいろな視点から心地よく宇宙を楽しめる新しいエンタテインメント・ミュージアムとして、2014年7月8日のオープン以来、30万人以上の方にご来館いただいています。

このたび1周年を記念して、TeNQのメインコンテンツである「シアター宙(ソラ)」にて、新映像プログラム「Cosmos —光と音が奏でる138億年」を公開するほか、一部施設のリニューアルやキャンペーンなどを実施します。

さらに、1周年特別企画展として、人気漫画「宇宙兄弟」とコラボレーションした「宇宙兄弟展×TeNQ」を開催します。TeNQ館内の企画展示室を中心に、TeNQならではの切り口で作品と宇宙の魅力をお楽しみいただけます。



©小山宙哉／講談社

主な内容

◆シアター宙(ソラ) 新映像プログラム「Cosmos —光と音が奏でる138億年」を公開

TeNQのメインコンテンツである「シアター宙(ソラ)」は、直径11mの穴が開いたシアターを覗き込む独自のスタイルで、足元にまで映像が流れ込む浮遊感や臨場感を体感できるほか、4K超の映像は美しく息をのむような鮮明さ・立体感を表現し、これまでと違った視点で宇宙をお楽しみいただけます。

昨夏のオープン以来、「another point of view」という宇宙を見つめる視点の変化を表すプログラムを上映しておりますが、1周年を記念して公開される第2弾映像プログラム「Cosmos —光と音が奏でる138億年」では、138億年前のビッグバンに始まり、現在・未来へと続く宇宙を、「光」と「音」という異なる感覚を重ね合わせるように表現します。また、今作は写真家・谷角靖氏の色彩豊かな実写風景を使用するほか、4Kカメラ空撮で撮り下ろした実写動画や、前作同様ISS(国際宇宙ステーション)から見た地球実写画像をタイムラプス手法で動画化するなど、宇宙の壮大さ・美しさを体感しながら、宇宙をより身近なものとして楽しめます。

※第1弾映像プログラム「another point of view」は、今後も上映を予定(期間は未定)しています。



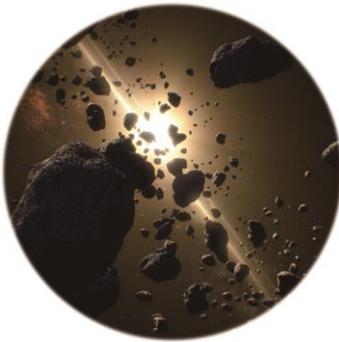
シアター宙(ソラ)

◎名称: 第2弾映像プログラム「Cosmos —光と音が奏でる138億年」

◎上映期間: 2015年7月1日(水)～

◎内容: 138億年遡ってビッグバンから生まれた光と音は、ファーストスターや星雲を抜け銀河系を間近に巡り、次第に二つの波長を重ね合わせながら色彩豊かな現在の地球に辿り着きます。そして、「宇宙」の意味を持つコスモスの畑に立つ少年の心に響き、月の浮かぶ星空を見上げ、ヒトの想いが未来の宇宙へと向かうことを表します。(約10分)

- ◎見どころ: ・4Kカメラを使用し、空撮で撮り下ろした青森県仏ヶ浦の風景動画
 ・写真家 谷角靖氏の、色彩豊かな実写風景・ウユニ湖の星空映像
 ・ISSから見た地球の実写映像
 ・星雲や銀河系など、立体的で臨場感・浮遊感のあるリアルなCG表現
 ・立体音響を活かし、エフェクトを効かせ映像と一体感ある迫力のオリジナル BGM、など
- ◎制作 作: クリエイティブディレクション／(株)丹青社
 制作・統括／(株)タケナカ 演出・監督 日置修平
- ◎制作協力: CG制作／(株)ロボット、(有)リンダ、(株)トムス・ジーニーズ、(株)アクア
 写真／谷角靖
 空撮／SORATORIYA service
 音楽制作／LCA Creative Service
 技術協力／SONY



NASA photo
ISS042-E-108181

◆1周年特別企画展「宇宙兄弟展×TeNQ」

TeNQ内の企画展示室では、昨夏のオープン以来、現在開催中の『『宇宙』のえがき手』まで3回の企画展を開催していますが、今回は1周年特別企画展として、人気漫画「宇宙兄弟」とコラボレーションした「宇宙兄弟展×TeNQ」を開催します。企画展示室を中心に、「宇宙兄弟」の登場人物やストーリーを通じた世界と、リアル世界の宇宙に挑む人々を重ね合わせるなど、TeNQならではの切り口で作品と宇宙の魅力を紹介します。

- ◎名称: 1周年特別企画展「宇宙兄弟展×TeNQ」
- ◎協力: 講談社／読売新聞社／宇宙航空研究開発機構(JAXA)
 国立天文台(NAOJ)／有人宇宙システム(JAMSS)
- ◎期間: 2015年7月1日(水)～11月3日(火・祝)予定
- ◎入場料: TeNQ入館料に含む
- ◎場所: 企画展示室、ほか
- ◎主な内容:

★展示紹介Ⅰ 宇宙に関わる人々

「宇宙兄弟」の登場人物と、実際に宇宙に関わる人やストーリーを重ね、宇宙に従事する人の姿を紹介します。

国立天文台・チリ観測所長 長谷川哲夫さん、ほか

★展示紹介Ⅱ 「宇宙兄弟」から生きるヒント

困難にぶつかった時、進路に迷う時、心が軽くなったり、心強く思えたり、背中を押してくれる、「宇宙兄弟」の中の数々のストーリーから、私たちの人生において、日常生活の中でもヒントになる言葉やシーンを紹介します。

★展示紹介Ⅲ 「宇宙兄弟」原画展示

初公開を含む厳選した原画を展示します。



©小山宙哉／講談社

★企画展示室以外での主な展開

宇宙に関わる名言を味わう「コトバリウム」にて、「宇宙兄弟」の中から厳選した名セリフ・名シーンによる特別バージョンを実施します。さらに、簡単な質問に答えて自分のタイプを診断する「宇宙自分診断」にて、「宇宙兄弟」のキャラクタータイプ別の診断ができる特別バージョンを実施します。

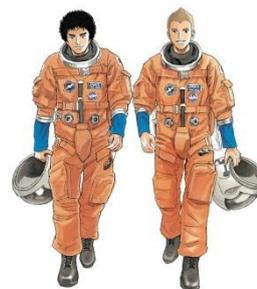


コトバリウム

『宇宙兄弟』とは

UFOを目撃したことをきっかけに、ともに宇宙を目指そうと約束した兄弟。その19年後、弟・日々人は見事に宇宙飛行士となり夢を叶え、兄・六太は弟を悪く言った上司に頭突きをし、会社をクビになっていた。兄は弟に背中を押され、幼い頃の夢に30歳を超えてから再挑戦するが……。

六太と日々人、そして二人をとりまく仲間が織り成すストーリーが人気の漫画。2008年に雑誌『モーニング』にて連載が始まり、2011年には小学館漫画賞、講談社漫画賞を受賞、累計発行部数が1500万部を超えるなど注目を集めてきました。



©小山宙哉／講談社

◆館内施設一部リニューアル

楽しい記念写真が撮れる、つながる場所「ちょっと宇宙でフォト」に、趣向をこらした新しいスポットが登場します。

■宇宙ミュージアム「TeNQ(テンキュー)」施設概要

◎所在地:東京都文京区後楽1-3-61 東京ドームシティ内 黄色いビル6F

◎施設構成:シアター宙(ソラ)、サイエンス、はじまりの部屋、イメージーション、など 全9エリア

◎営業時間:【平日】11:00~21:00 【土日祝・特定日】10:00~21:00(最終入館20:00)

※年中無休(整備休館・営業時間変更の場合あり)、特定日はGWおよび春夏冬休み、など。

ただし、6/29(月)・30(火)は休館します。

◎チケット:チケットは日時指定制です。

お客様の快適な鑑賞環境を確保するため、日時を指定し、TeNQ公式サイトからのオンライン、またはセブンチケットで事前購入していただくシステムになります。

なお、7月販売分より、前売料金を新設します(下記参照)。

※当日、空きがある場合は、TeNQ内チケットカウンターで当日券を販売します。

<http://www.tokyo-dome.co.jp/tenq/>

◎料金:

	通常料金	前売料金 (7月販売分より)
一般	1,800円	1,600円
大学生/高校生/専門学校生	1,500円	1,300円
中学生/小学生/未就学児(4歳以上)	1,200円	1,000円
シニア(65歳以上)	1,200円	1,000円

※大型映像、音響、暗転、点滅の特殊演出があるため、4歳未満は入館をお断りします。

※10歳未満は、中学生以上の同伴者が必要となります。

お客様からのお問い合わせ先:宇宙ミュージアム TeNQ(テンキュー) TEL. 03-3814-0109